

開 会 式

Agricultural ESD Symp

11/4

November 4th, 2008

Opening Ceremony



工藤典雄

筑波大学副学長

UNESCOの協同センターである筑波大学農林技術センターが「国際農学ESDシンポジウム」を筑波大学で開催することは大変意義深いことであり、多くの成果が挙げられることを期待します。

筑波大学から工藤典雄副学長（理事）、文部科学省から渡辺その子氏（文部科学省 大臣官房国際課 企画調整室長）をお迎えして開会式が行われました。坂井直樹農林技術センター長からは主催者を代表して挨拶が行われました。



渡辺その子

文部科学省
大臣官房国際課企画調整室長
（日本ユネスコ国内委員会事務局次長）

ESDは日本の提唱により始められた取り組みであり、世界的に食糧問題が大きな話題になっている現在、農業に的を絞った今回の「国際農学ESDシンポジウム」が開催されることは大きな意味があります。



坂井直樹

筑波大学農林技術センター長

「大学教育の国際化加速プログラム（国際共同・連携支援（交流プログラム開発型）」の財政支援を受け、「国際農学ESDシンポジウム」を開催することができたことに對し、感謝致します。

基調講演



November 5th, 2008

Key Note Lectures

Derek J. Elias

(Chief, Education for Sustainable Development (ESD) Unit
UNESCO Bangkok)

Food Security and Agriculture: Using ESD to address global challenges

ユネスコ・バンコク事務所でESDチームの責任者を務めておられるデレック・エライアス氏からは、2008年から2013年までの6年間にわたって実施されるAPEIDの第8期計画の概要とESDについて基調講演を行って頂きました。

食糧問題はきわめて重要であり、現在世界で8億5千万人が飢餓にさらされています。その人数は今後更に1億人程度増加することが予測されていることから、食糧問題とESDを結びつけることが重要です。

今後は、生産者も消費者も様々な情報を共有し、従来とは異なったアプローチが必要であること、単一の側面のみに注目して行動を起こすのではなく、多面的・総合的に考えて行動する必要性があります。



Symposium 2008



鈴木克徳

(金沢大学教授、ESD-J 理事)

Education for Sustainable Development and Agricultural Education

金沢大学教授で日本におけるESD活動に中心的な役割を果たしておられるESD-J理事の鈴木克徳氏からは、日本におけるESD活動を中心に基調講演を行って頂きました。

ESDの考え方は、数週間程度の授業で教えられるような内容ではなく、極めて複雑で多岐にわたり、価値や規範などについて深い思索を必要とし、単なる環境教育よりはるかに幅広い内容を含んでいます。

現在、日本には文部科学省が推進する14の地域にESD活動があるほか、Asia Good ESD Practice Project (AGEPP) の取り組み、ESDの地域専門拠点 Regional Centres of Expertise on ESD (RCE) を通じた活動などが数多く行われています。



坂井直樹

(筑波大学農林技術センター長)

Scientific Basis and Present Status on Sustainable Agriculture

農林技術センター長の坂井直樹氏からは「持続可能な農業の科学的基盤」という題名で基調講演が行なわれました。

「持続可能な農業」には多くの考え方があることを示し、USDA、OECD、FAO、アメリカ議会、農林水産省における「持続可能な農業」の定義が紹介されました。その上で、坂井氏も委員の一人を務められた「持続可能性の科学2006」の報告書第4章「食料、土壌、水、森林」の内容が説明されました。

1987年に国連ブラントランド委員会が出版した「Our Common Future」の中では、食料の生産に問題があるのではなく、本当の問題は食料の供給にある、と書かれています。今後の課題として「1. 新たな緑の革命は必要か? 2. 農業革命、有機農業、遺伝子組み換えの有効性について」引き続き議論を深めていかなくてはなりません。



長谷川英夫

(筑波大学農林技術センター)

テイラー・デマー

(筑波大学農林技術センター)

Framework of Agricultural Education for Sustainable Development (Ag-ESD)

今回のシンポジウムの事務局長を務めた農林技術センターの長谷川英夫氏からは「持続可能な開発のための農業教育に関するフレームワーク」と題した講演が行われました。

